

君が輝くとき

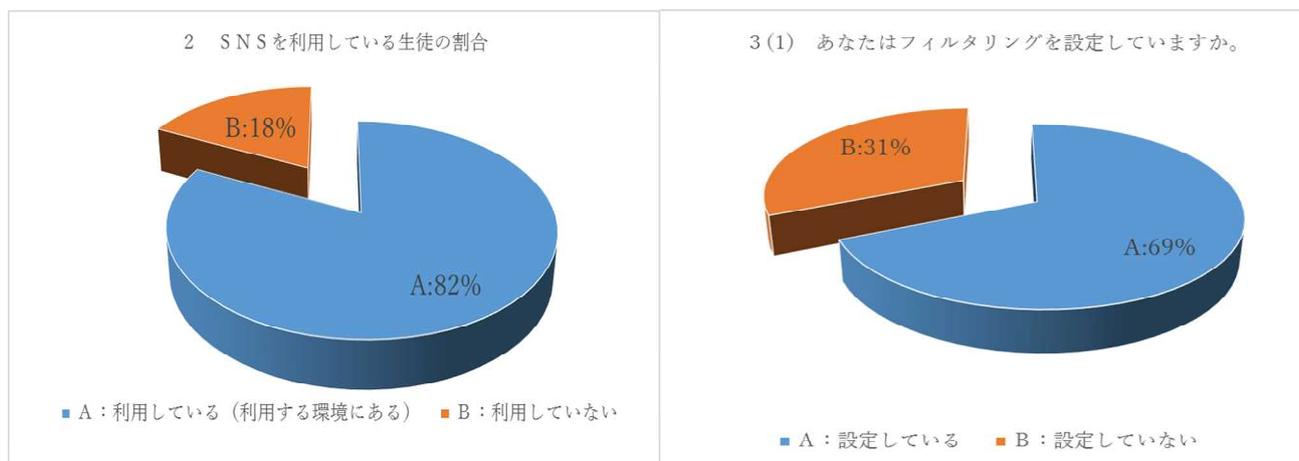
令和元年7月19日発

スマホ・ケータイに関するアンケート結果について

7月上旬にご協力いただいた「スマホ・ケータイに関するアンケート」の結果についてお知らせします。このアンケートは、子どもたちのスマホ・ケータイの使い方について、以前に把握していた使用状況よりも心配な点が明らかになったため、現状をより正確に把握するために全校生徒と保護者の方々を対象に実施しました。

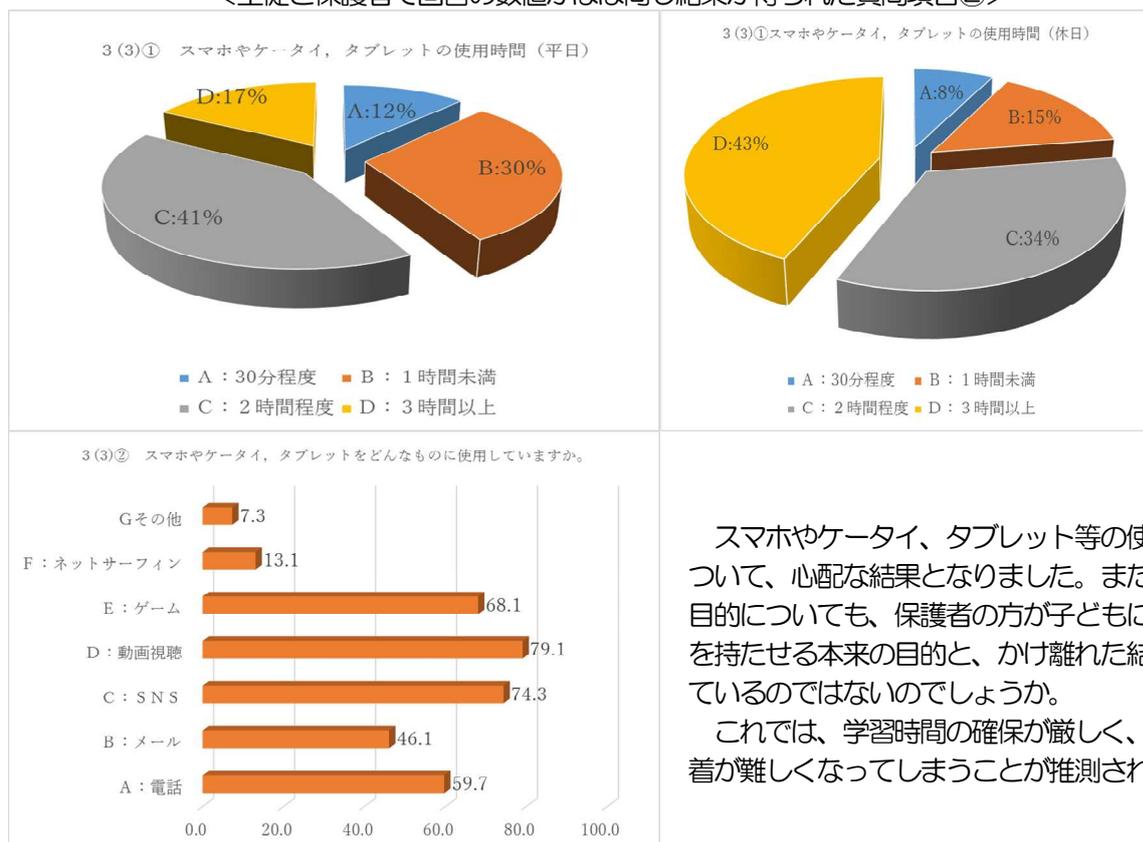
これまでも折に触れ、スマホ等の使い方について生徒に指導し、保護者の皆さんにも監督・指導をお願いしていますが、今回の集計結果をもとに改めて指導をお願いしたいと思っております。

<生徒と保護者で回答の数値がほぼ同じ結果が得られた質問項目①>



本校では、65%の生徒がスマホやケータイを所持しており、持っていないでも全体の82%がSNSを利用しています (利用できる環境にあります)。ところが、3割以上がフィルタリングを設定しておらず、危険なサイトにアクセスできる状況にあります。

<生徒と保護者で回答の数値がほぼ同じ結果が得られた質問項目②>

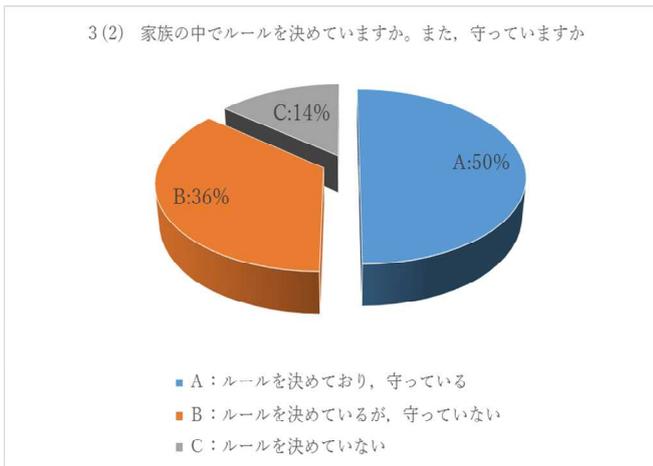


スマホやケータイ、タブレット等の使用時間について、心配な結果となりました。また、使用の目的についても、保護者の方が子どもにスマホ等を持たせる本来の目的と、かけ離れた結果となっているのではないのでしょうか。

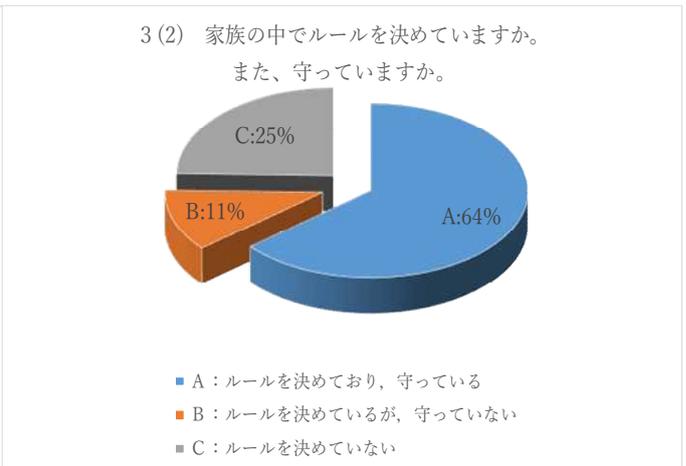
これでは、学習時間の確保が難しく、学習の定着が難しくなってしまうことが推測されます。

<生徒と保護者で回答の数値に差が見られた質問項目①>

生徒の回答



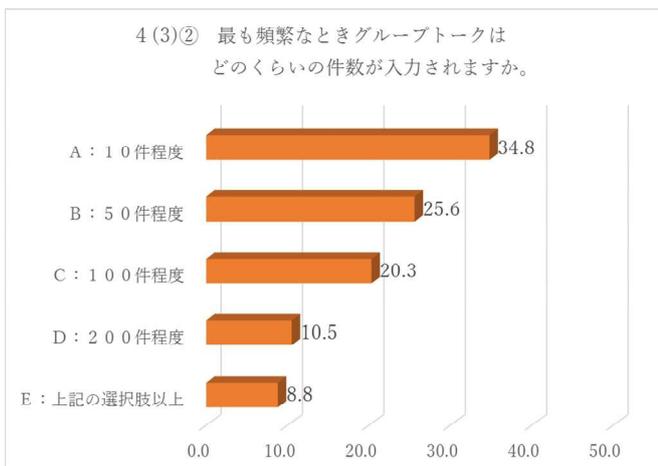
保護者の回答



上の2つのグラフからは、スマホやケータイの「家族の中でのルール」について、子どもと保護者の意識に差があることが読み取れます。

<生徒と保護者で回答の数値に差が見られた質問項目②>

生徒の回答



保護者の回答



「1時間以内の最多の入力件数」についての結果です。生徒の回答を見ると「10件程度」が一番割合の高い項目で、一見入力件数が少ないように感じますが、100件以上の枠を考えると39.6%となっており、非常に心配な結果となっています。それにもかかわらず、子どものSNSの使用状況について把握されていない保護者が3割近くいる結果となりました。

「家庭で使い方の話し合い」や「スマホ等の管理」をお願いします

以上のことから、是非この夏休みの機会を利用して、各家庭で使い方のルールについて改めて話し合ってくださいようお願いいたします。学校でもこの現状を踏まえ、今後も継続して指導をさせていただきます。

別紙でお知らせがあったように、9月13日(金)に「情報モラル教室」が実施されます。是非、この機会に保護者の方にも参加していただき、携帯電話やスマートフォンの使用の仕方についてお子様と話し合うきっかけにいただければ幸いです。多くの保護者の方をご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。